

### 水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	H30, R1, R2, R3 年度	事業者名	WEF 技術開発株式会社
補助事業名	水草活性酸素処理の量産システム開発(乾燥方法改善)、 活性酸素処理水草の各種ガラス工芸利用展開		
補助事業結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械装置での処理時間が1時間余り、後は1日1回の切り返して、夏場5日、秋口10日で完熟たい肥が出来、また、農家にとって収益増となる①収量UP、②連作障害無し、③ミネラル豊富な美味しい野菜(果物は糖度UP)が、この水草堆肥だけで可能になった。</li> <li>・高含水率の植物が短期間で完熟堆肥化され、しかも農業でCO2削減が可能になるこの処理システムで特許申請し、世界に向けて効果を発表した。現在カリブ海のサルガッサム(ホンダワラ)、タイ、インドネシアのホテイアオイ処理の引合いがある。</li> </ul>		
本年度(令和5年度)の状況 ・技術開発等の状況を含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来は滋賀県の水草処理で、農業、環境に貢献したいところ、協力者が見いだせないため、今後は海外中心に展開して行く。</li> <li>・カリブ海周辺はサルガッサムが大きな問題となっているため、日本が日本技術で解決する提案を行い、JICA, 日本工営、同和ライン(株)と連携して今年度から本格的に取り組む。</li> <li>・タイは(株)IECが農業省と組んで、ホテイアオイの堆肥化、CO2削減を目指す。</li> <li>・インドネシアは立命館大、北海道大と組んで、アジアの喫緊の課題である農業からのCO2削減をアジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)に提案している。</li> </ul>		
備考			

※補助事業結果については、実績報告書にて報告をいただいておりますが、結果を公表するにあたり、改めてお伺いしています。

企業秘密等、公表されることで、不利益となること等は記載しないでください。